

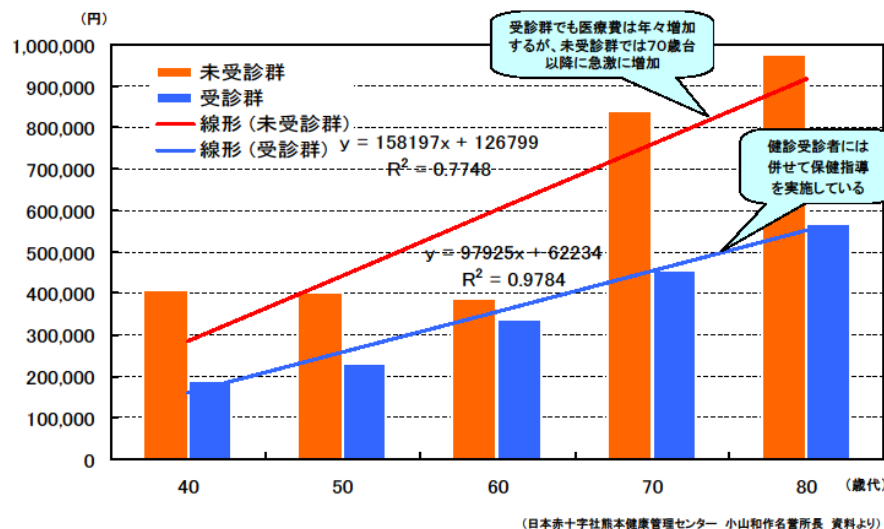
検診を受けましょう！

生活習慣病と言われる糖尿病や高血圧症、脂質異常症は、最初は症状がなくても心筋梗塞、脳卒中などの重大な病気につながり、生活の質の低下や医療費の増大を招きます。特定健診は、これらの病気のリスクの有無を検査し、リスクがある方の生活習慣をより望ましいものに変えていくための保健指導を受けていただくことを目的とした健康診査です。

しかし受診率は低く、木古内町においては27年度32.3%であり、北海道平均37.4%、全国平均48.6%には遠く及ばない状況にあります。

なお健診には予約が必要です。事前のお申し込みをお願いします。

（参考3） 健診の未受診者と受診者の医療費推移
（熊本県A町国保加入者の年齢階級別年間医療費）



第15号 木古内町国民健康保険病院 もつとない

病院理念

「保健・医療・福祉の連携により住民の幸せに貢献します」

診療予約については

01392-2-4895

（ヨヤクゴー）



クリスマスホールコンサート

12月10（土）接遇委員会が中心となりクリスマスホールコンサートを開催しました。

今年で4回目の開催となり、クリスマスソングを中心に病院コーラス隊の合唱や町内在住の平野智晴さん、松本遙月さんによる箏曲、木寺教文さんによる落語が行われ、100名を超える聴衆を魅了しました。

また、山本航さんによるバレーンアートコーナーも設けられ、風船を手にとった子供たちの笑顔があふれていました。

雪のない中のコンサートでしたが、クリスマス雰囲気に入れることができた素敵なコンサートとなりました。



病棟の紹介

西病棟は、内科、外科等で治療が必要な患者さんと、主に整形外科の手術目的で入院する患者さんの混合病棟となっています。函館等の急性期病院から慢性期に移行する患者さんの転院も受け入れています。また、病状が安定した患者さんが、在宅復帰を行うことを目的とした「地域包括ケア病床」も備えています。

地域包括ケア病床とは

急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設

へ移行するには不安がある患者さんに対し、リハビリテーションや介護サービス調整を行うことを目的とした病床です。在宅復帰を行うために、医師、看護師、リハビリスタッフ、退院支援担当者が協力して、個別性のあるリハビリや専門的な相談、準備を行っています。患者さんが退院後の生活をイメージしながら、心の準備をする時間を過ごすことができます。

体操教室

看護師の司会で、平日11時からデイルームで体操教室を行っています。当初は、看護師が行うリハビリ目的で、地域包括ケア病床入院中の患者さんが対象でしたが、現在では一般病床入院中の患者さんやご家族の方も参加してくれるようになりました。毎日、司会進行の看護師が変わるのでバリエーションのある体操を楽しむことができます。また、体操教室に参加することで、患者さん達が顔見知りとなり会話を楽しみ、30年ぶりに再会できた等、ドラマチックな経験をした患者さんもありました。終了後はコーヒーやお茶等、飲み物も提供しています。

看護サービス

看護師が担い手となって、他職種協働のチーム医療を意識した看護サービスを行っています。日々の業務の中で、ご家族の方や患者さんからの学びも多いと感じています。その中で看護師はともに悩みながらベストを尽くしています。また、入院すると意欲低下や筋力低下等、良くない影響を及ぼすことがありますが、患者さんの意欲やご家族の意向等を引き出すような自立支援を行う看護を心がけていきたいと思っています。

冬道の転倒にご注意を！

冬は路面が滑りやすくなっています。特に高齢者はちょっとした転倒で骨折を起こしやすく、これが原因で寝たきりとなり認知症が一気に進む原因となりますので注意が必要です。

〈冬道を上手に歩くポイント〉

1. 路面状態をよく観察する
2. ゆっくり歩く
3. 靴の底全体を路面につける。



日本医療機能評価機構

認定第 JC1983 号

機能種別版評価項目3rdG : Ver.1.0

木古内町国民健康保険病院

次回発行は、
平成29年5月1日を予定しています。

〈お問い合わせ先〉

木古内町国民健康保険病院

住所：木古内町字本町710番地

電話：01392-2-2079

FAX：01392-2-6025